

## 4 財政状態（貸借対照表）について

### (1) 財政状態の概括

貸借対照表に示される財政状態は、次表のとおりである。

(単位:千円・%)

区 分	平成23年度		平成22年度		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
<b>資 産</b>	36,706,139	100	35,613,978	100	1,092,161	3.1
固定資産	32,424,226	88.3	31,599,187	88.7	825,039	2.6
流動資産	4,281,913	11.7	4,014,791	11.3	267,122	6.7
<b>資産合計(総資産)</b>	<b>36,706,139</b>	<b>100</b>	<b>35,613,978</b>	<b>100</b>	<b>1,092,161</b>	<b>3.1</b>
<b>負 債</b>	2,361,315	6.4	2,111,191	5.9	250,124	11.8
固定負債	1,141,114	3.1	1,112,188	3.1	28,926	2.6
流動負債	1,220,201	3.3	999,003	2.8	221,198	22.1
<b>資 本</b>	34,344,824	93.6	33,502,787	94.1	842,037	2.5
資本金	23,811,736	64.9	23,145,790	65.0	665,946	2.9
剰余金	10,533,088	28.7	10,356,997	29.1	176,091	1.7
<b>負債資本合計</b>	<b>36,706,139</b>	<b>100</b>	<b>35,613,978</b>	<b>100</b>	<b>1,092,161</b>	<b>3.1</b>

#### 前年度からの財政状態の動向

審査資料「水道事業年次表(貸借対照表)」で見ると、負債の伸び率は前年度に引き続いて大きく増加している。資本は、前年度ごくわずかに減少していたが、本年度は増加している。負債や資本によって資金を調達して得られる資産は、前年度に引き続いて増加している。

### (2) 資 産

#### ア 固定資産

固定資産は、前年度に比べ、有形固定資産の増により、若干増加している。これは、田主丸地区送水管整備事業分及び配水本管整備事業(北部)分が加わり、有形固定資産の中の建設仮勘定が増加したことなどのためである。無形固定資産は前年度に引き続き、本年度も増減はない。

#### 【増減費目】

[ 増 加 分 ]	[ 減 少 分 ]
・有形固定資産 825,039 千円	( な し )

#### イ 流動資産

前年度に比べ未収金及び前払金は減少したものの、現金及び預金などの増加が上回ったため、流動資産は、増加している。これは、流動負債の中の未払金の増により、現金及び預金が増加したためである。

#### 【主な増減費目】

[ 増 加 分 ]	[ 減 少 分 ]
・現金及び預金 371,450 千円	・未収金 64,582 千円
・仮払金 2,810 千円	・前払金 42,548 千円

### (3) 負債

#### ア 固定負債

固定負債は、前年度より増加している。これは、修繕引当金及び退職給与引当金について、執行残額を限度として引き当てるというルールで行っており、本年度、執行残額を繰り入れたことから両引当金とも増加している。

#### 【増減費目】

[ 増 加 分 ]		[ 減 少 分 ]	
・修繕引当金	20,200 千円	( な し )	
・退職給与引当金	8,725 千円		

#### 引当金の推移

(単位:千円)

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
退職給与引当金	引当額	0	25,162	54,586	0	8,725
	取崩し額	86,942	0	0	47,066	0
	残 高	644,740	669,902	724,488	677,422	686,147
修 繕引当金	引当額	0	0	28,000	3,400	20,200
	取崩し額	0	0	0	0	0
	残 高	403,367	403,367	431,367	434,767	454,967
引当金合計	1,048,107	1,073,269	1,155,855	1,112,189	1,141,114	

#### イ 流動負債

前年度に比べ預り金は減少したものの、未払金の増加が上回ったため、流動負債は、増加している。これは、平成23年度末日が金融機関の非営業日に当たり、企業債の元利償還金の一部を4月に入って支払ったことから、未払金が増加したためである。

#### 【増減費目】

[ 増 加 分 ]		[ 減 少 分 ]	
・未払金	236,288 千円	・預り金	15,090 千円

### (4) 資本

#### ア 資本金

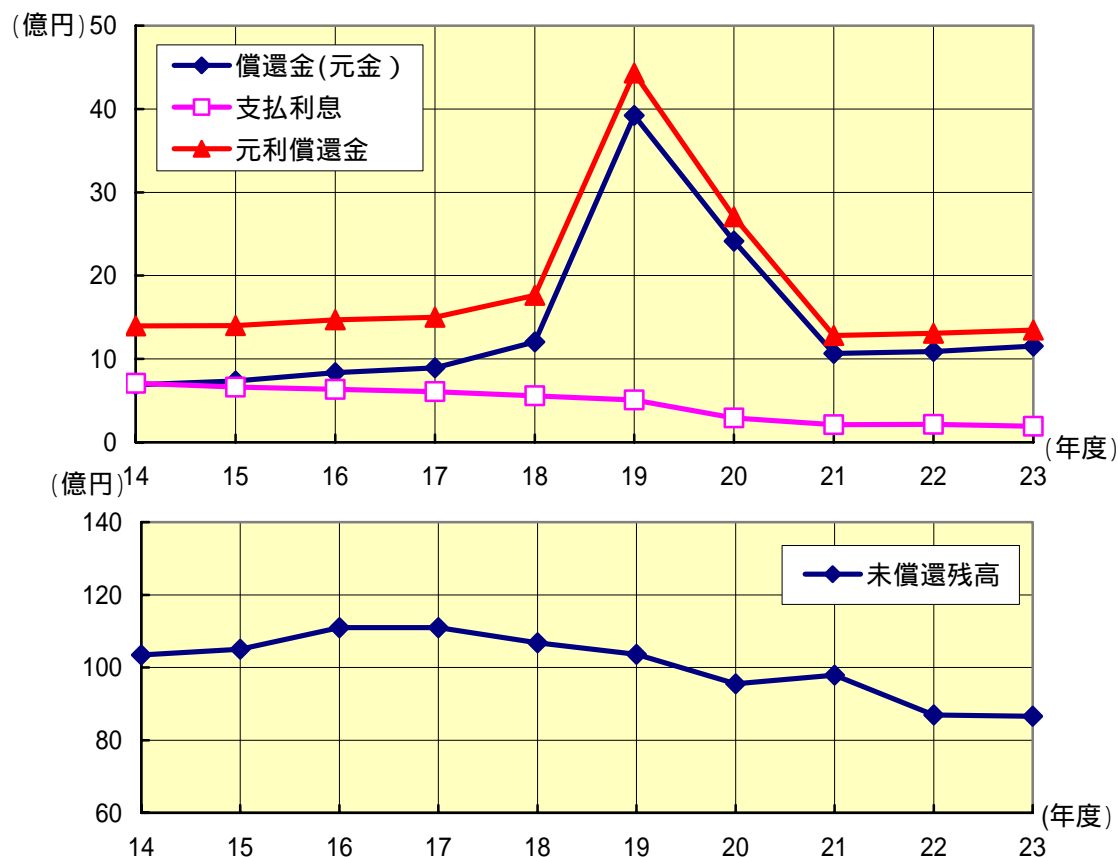
自己資本金の増加は、企業債の償還に充てた減債積立金 7 億円の振替によるものである。借入資本金（企業債）は、本年度、田主丸地区送水管整備事業、第8次整備事業等の資金として11億2,000万円の借入れを行ったが、11億5,405万3千円の償還を行ったため、借入資本金（企業債）の未償還残高は3,405万3千円の減少となっている。

#### 【増減費目】

[ 増 加 分 ]		[ 減 少 分 ]	
・自己資本金	700,000 千円	・借入資本金（企業債）	34,053 千円

なお、企業債の本年度末未償還残高は、86億6,005万6千円となっており、最近10年間の推移は、次表のとおりである。

企業債元利償還額及び未償還残高の推移



(単位: 千円)

区分	償還金(元金)	支払利息	元利償還金	借入額	未償還残高
平成14年度	689,021	709,432	1,398,453	0	10,342,355
平成15年度	737,351	662,417	1,399,768	900,000	10,505,004
平成16年度	833,589	636,694	1,470,283	1,422,193	11,093,608
平成17年度	894,252	608,761	1,503,013	894,400	11,093,756
平成18年度	1,204,885	558,786	1,763,671	789,800	10,678,671
平成19年度	3,920,873	509,789	4,430,662	3,605,600	10,363,398
平成20年度	2,413,368	293,794	2,707,162	1,598,300	9,548,329
平成21年度	1,067,703	213,224	1,280,927	1,304,800	9,785,426
平成22年度	1,091,317	216,810	1,308,127	0	8,694,109
平成23年度	1,154,053	193,309	1,347,362	1,120,000	8,660,056

- 平成16年度の借入額には、旧城島町及び旧三瀨町からの合併引継ぎ分5億7,219万3千円を含む。
- 各数値については千円単位で表示しており、表中で未償還残高を算出した場合と異なるものがある。

イ 剰余金

前年度に比べ、利益剰余金は減少したものの、資本剰余金の増加が上回ったため、剰余金全体としては、増加している。

資本剰余金

【増減費目】

[ 増 加 分 ]		[ 減 少 分 ]
・ 加入金	88,387 千円	( な し )
・ 工事負担金	85,919 千円	
・ 受贈財産評価額	49,090 千円	
・ 国県市補助金	26,216 千円	

利益剰余金

【増減費目】

[ 増 加 分 ]	[ 減 少 分 ]
( な し )	・ 当年度未処分利益剰余金 73,522 千円

積立金及び未処分利益剰余金の推移

(単位:千円)

区 分		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
減債 積立金	積立額	900,000	900,000	600,000	600,000	700,000
	処分額	900,000	900,000	600,000	600,000	700,000
	残 高	0	0	0	0	0
建設 改良 積立金	積立額	0	0	0	0	0
	処分額	0	0	0	0	0
	残 高	283,650	283,650	283,650	283,650	283,650
未処分 利益 剰余金	処分額	900,000	900,000	600,000	600,000	700,000
	当年度 純利益	820,226	613,072	655,290	707,612	626,478
	残 高	1,019,018	732,090	787,380	894,992	821,470
利益剰余金合計		1,302,668	1,015,740	1,071,030	1,178,642	1,105,120

なお、当年度未処分利益剰余金については、7億円を減債積立金に積み立て、残額の1億2,147万円を翌年度繰越利益剰余金として平成24年度に繰り越すこととしている。